

令和6年度

浜松市三大地財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

浜松市監査委員

浜 監 第 93-1 号

令和 7 年 10 月 9 日

浜松市長 中 野 祐 介 様

浜松市監査委員 石 坂 守 啓

浜松市監査委員 佐 藤 雅 秀

浜松市監査委員 太 田 康 隆

浜松市監査委員 須 藤 京 子

決算の審査意見の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により令和 6 年度三大地財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

令和6年度 浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見	5
第1 審査の基準	5
第2 審査の対象	5
第3 審査の期間	5
第4 審査の着眼点及び実施内容	5
第5 審査の結果	5
第6 決算状況	6
1 決算収支	6
2 決算の計数	6
3 歳入	6
4 歳出	7
第7 財産管理の状況	7
1 公有財産	7
2 基金	7

凡 例

本文及び表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 本文及び表中に用いた年度は、審査意見を除き、原則として元号を省略した。
- 2 本文中に用いた金額は、原則として万円未満を切り捨てて表示した。
- 3 本文及び表中に用いた比率は百分率で、原則として、小数点第2位を四捨五入して表示した。
- 4 表中に用いた金額は、原則として千円未満を切り捨てて表示した。したがって、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 5 各表の資料は、特別会計決算書又は関係部局からの提出物を基に作成した。

令和6年度 浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見

第1 審査の基準

この審査は、浜松市監査基準(令和2年浜松市監査委員告示第2号)に準拠して実施した。

第2 審査の対象

令和6年度浜松市三大地財産区特別会計歳入歳出決算

上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

第3 審査の期間

令和7年7月1日から同年8月22日まで

第4 審査の着眼点及び実施内容

主に以下の点を着眼点とし、検証した。

- ・ 審査に付された決算書その他関係書類が適正に作成されているか
- ・ 決算書類に記載された計数は正確であるか
- ・ 歳入歳出予算は適正に執行されているか

審査手続については、試査を基礎として行い、会計管理者が所管する諸帳簿と照合し、計数の確認のほか、関係職員から説明を聴取し、予算の執行状況等について審査を行った。

第5 審査の結果

上記のとおり審査した限り、重要な点において、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であることが認められた。

また、歳入歳出予算の執行はおおむね適正であると認められた。

第6 決算状況

1 決算収支

決算収支状況

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	6年度	5年度	増減額	対前年度比
歳入決算額 (A)	9,890	11,812	△ 1,921	83.7
歳出決算額 (B)	7,106	10,932	△ 3,825	65.0
歳入歳出差引額 (A)-(B) (C)	2,784	880	1,904	316.4
翌年度へ繰り越す べき財源 (D)	0	0	0	—
実質収支 (C)-(D) (E)	2,784	880	1,904	316.4
前年度実質収支 (F)	880	4,171	△ 3,291	21.1
単年度収支 (E)-(F)	1,904	△ 3,291	5,196	—

歳入決算額は989万円、歳出決算額は710万円となっている。実質収支は、278万円の黒字で、令和5年度に比べて、190万円(216.4%)増加した。また、単年度収支は、190万円の黒字である。

2 決算の計数

令和7年5月31日(出納閉鎖日)現在における歳計現金の在 high は普通預金278万円で、令和6年度の歳入歳出差引額と合致する。

3 歳入

歳入の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	6年度	5年度	増減額	対前年度比
財産収入	9,010	7,640	1,370	117.9
財産運用収入	9,010	7,640	1,370	117.9
繰越金	880	4,171	△ 3,291	21.1
合 計	9,890	11,812	△ 1,921	83.7

歳入は989万円で、令和5年度に比べて、192万円(16.3%)減少した。主として繰越金329万円の減少によるものである。

4 歳出

歳出の科目別内訳

(単位 金額：千円、比率：%)

区 分	6 年度	5 年度	増 減 額	対前年度比
議 会 費	269	449	△ 179	59.9
議 員 報 酬	158	103	54	153.4
視 察 研 修 費	0	334	△ 334	0.0
議 長 交 際 費	3	3	0	100.0
一 般 諸 経 費	108	8	99	1,350.0
総 務 費	6,837	10,483	△ 3,645	65.2
一 般 管 理 費	372	321	50	115.9
財 産 管 理 費	6,465	10,161	△ 3,696	63.6
合 計	7,106	10,932	△ 3,825	65.0

歳出は710万円で、令和5年度に比べて、382万円(35.0%)減少した。主として財産管理費369万円及び視察研修費33万円が減少したことによるものである。

第7 財産管理の状況

財産現在高

区 分			6 年度末	5 年度末	増 減 高	
公有財産	山 林	所 有	面 積 (㎡)	363,024.00	363,024.00	0.0
			立 木 (㎥)	747.78	729.80	17.98
基金	現金	積立基金 (千円)	61,000	61,000	0	

1 公有財産

山林

山林の面積は令和6年度末現在36万3,024.00㎡で、令和5年度末と同じである。立木の推定蓄積量は令和6年度末現在747.78㎥で、令和5年度末に比べて、17.98㎥増加した。これは、自然成長によるものである。

2 基金

基金の現金は令和6年度末現在6,100万円で、令和5年度末と同じである。